

## 「自分も何かをしたい」との市民の想いに応え、共同の輪をひろげよう

### ●「自治会で炊き出し体制を整えたのに日赤がやるからと市が断ってきた」(自治会長さん)

市内に避難している被災者の受け入れについて流山市はほとんど市民に知らせていません。共産党市議団が20日に避難所を訪問して、その日から炊き出しなどの支援を呼びかけてきましたが、支援の輪は、まだ小さな輪でしかありません。

社会福祉協議会や民生委員に市は協力を求めてもいいのではないのでしょうか。共産党市議団がイトーヨーカドーなどに協力を要請した時、「市から要請があれば」と返事をもらっています。各業界団体にも災害協定にもとづき市長が要請できるのではないのでしょうか。

炊き出しの問題で、自治会にいったんお願いしながら断ったといいます。なんともちぐはぐな話ではないのでしょうか。北部地域を中心に、自治会や地区社協にもお願いして、ともに力を合わせて、避難所への支援の輪をひろげていきましょう。みなさんのお力をお貸しください。

また、個人で協力したいという声も寄せられています。江戸川台の理容店から「避難所の方には無料でパーマを」との申し出が、また、子どもたちに絵本を差し入れたい、学習ボランティアができる、等等…

### ●流山民主商工会が炊き出しボランティアに参加。「絵本を提供したい」「無料でパーマ」の申し出も…

[当面の炊き出しの予定]

3月29日(火) 昼: 土建有志 夜: 日赤  
30日(水) 昼: 新婦人 夜: 日赤  
31日(木) 昼: 土建有志 夜: 日赤  
4月1日(金) 夜: 日赤

流山民主商工会から、炊き出しボランティアに参加したいと申し出がありました。4月1日以降に日にちを決めて協力してもらうことになりました。介護施設

「ひまわり」から始まった炊き出しボランティアは6団体、述べ40人以上にひろがっています。今後は、週のローテーションを作りながら、自治会など地域の協力を得ていきたいと思っています。

また、個人で協力したいという声も寄せられています。江戸川台の理容店から「避難所の方には無料でパーマを」との申し出が、また、子どもたちに絵本を差し入れたい、学習ボランティアができる、等等…

## 「場所と毛布を提供」だけでなく、被災者の生活再建にむけた救援活動への転換が必要です

流山市は、原発事故で自主避難してきた人たちに、一時的な支援「場所と毛布の提供」で良いとしてきました。共産党市議団の働きかけで、炊き出しなど少しづつ改善させてきましたが、消極的な姿勢はかわっていません。

今後、子どもたちの学校、生活費の問題など次々に出てきます。一時的な対応ではなく、生活再建をどう支援していくかが問われてきます。「自己責任」「自助努力」で乗り越えられるものではありません。

### 市教委に避難者の学校対策を聞き取りました

- 区域外就学扱い、籍を通学する学校に置く。その結果、教科書支給もケガした場合の対応も学校における検診、予防接触もできる。
- 通学及び就学に必要なバック、うわばき、制服、体操服などは就学援助または各学校のストックを利用する。就学援助は様々確認することがあるが子供優先で対応するので、相談してほしい。
- 4月からの予定は小学5人(流小2人向小金1人八木南1人江戸1人)、中学2人(北部1人東深井1人)だが、今後さらに増える見込み。学年のクラス数は柔軟に対応する。県教育委員会は「教員を配置できない」としており、1クラス41人もありえる。
- 放射能に対するいじめについては「心配している、学校、PTAとの連携を強化したい」

### ●震災にかかわる行政の窓口は

流山市東日本大震災相談センター

7158-1111 市役所

### ●救援活動やお困り事など何でもお寄せください

日本共産党流山市震災対策本部

いぬい紳一郎事務所 7157-6140  
小田桐たかし事務所 7154-8253  
徳増きよ子事務所 7144-1753  
植田和子事務所 7154-0288

救援活動の情報をお寄せ下さい

市議団のHPもご覧ください(FAX7157-6140)

<http://www.geocities.jp/kfbkd645/>